

佐賀県医師育成・定着支援センター事業について

医師育成・定着支援センター 江村
令和3年5月24日（月）

1. SAGA Doctor-Sプロジェクトの概要（令和2年度～）

医師定着のために **SAGA Doctor-S プロジェクト** を展開！

3つの「S」の視点で様々な取組を実施

Spirit

1 佐賀県で学び・働き・活躍する「志」と「誇り」を！

日本の医療のあけぼのは佐賀。臨床現場で活躍する医「志」を育て、医療人としての「誇り」を醸成

Settlement

Support

2 医師を育てるオール佐賀のサポート体制を！

佐賀での医師の「学ぶ・働く・暮らす」をサポート！
UIJターンや学び直しも応援

Satisfaction

3 働きやすく・働きがいのある医療機関へ！

医師のみならず医療従事者が「働きたい！」
と思える勤務環境改善を推進

佐賀の医療の将来を担う医師の**育成・定着**を「オール佐賀」で支援！

2. 佐賀県医師育成・定着支援センターの設置（令和3年度～）

趣旨・問題意識

- 若手医師や女性医師の県外流出は、将来の医療需要の増加に対処できなくなる可能性もあり重要な課題
- 就労人口の減少は、県の喫緊の課題であり、医療従事者とりわけ医師も同様

センター設置の目的

- SAGA Doctor-Sプロジェクトを推進の一環として医師や医療機関のネットワークを構築しつつ、県内の医師・学生への総合的・継続的な教育・就業支援を行い、県内の医師の定着につなげることを目的とした、「佐賀県医師育成・定着支援センター」を設置
- 県は、このセンターを「佐賀県に根ざし活躍する医師を育成するための拠点」と位置付け、医師の育成・定着に資する取組を、オール佐賀で一体的に推進する組織として整備

センターの位置付け

- 医療法第30条の25に基づく県の地域医療支援事務の一部として、県内唯一の医育大学である佐賀大学に委託し、整備

3. 佐賀県医師育成・定着支援センターの4つのコンセプト

佐賀県に根ざし活躍する医師を育成するための拠点を佐賀大学医学部に設置！

4つのコンセプトで医師・学生の活躍を総合的に支援！

Career Consulting

①一人ひとりの学ぶ・働くを積極的にサポート

- ◆ 佐賀大学医学部の専任教員等が、医師・学生が県内で学び・働くに当たっての課題に対してアウトリーチ・サポートを実施
- ◆ サポートを通じて県内で継続した就業を実現

Education

②地域で活躍できる教育の充実

- ◆ 医師・学生が県内で活躍できるための卒前・卒後一貫した教育プログラムの企画・実施、佐賀への愛着の醸成
- ◆ 教育プログラムの実施を通じて県内での就業を実現

Evidence

③地域の医療を担う医師の育成のための調査・研究

- ◆ 地域の医療需要や医師の偏在の状況について調査・分析
- ◆ 医師の効果的な育成手法について科学的に研究し、課題や解決策を提言

Network

④オール佐賀の支援体制の構築

- ◆ 医師・学生の総合的な支援環境を整備するため、学生、医師、医療機関等のお互いの顔が見え、信頼して話せるネットワークを構築
- ◆ 県内外に様々な取組を情報発信

✓ 従来医局が担ってきた機能を補完

✓ 全県的、卒前・卒後一貫、診療科横断的、医局横断的、医療機関横断的、年齢・性別・入局の有無を問わず、総合的・一体的な取組

4. 佐賀県医師育成・定着支援センターの具体的な業務

Career Consulting	対象	直接的効果
佐大地域枠アドミッションポリシー改訂と高校への周知	受験生	優秀な地元学生の確保
医学部生（約600名）へのアウトリーチサポート面談	全ての学生（義務がある学生を重点的に）	離脱抑止・県内定着の促進
自治卒医師、医師修学資金貸与医師、地域枠医師等へのアウトリーチサポート面談	義務がある医師（約60名）・希望医師	離脱抑止・県内定着の促進
女性医師、学び直し希望医師等へのアウトリーチサポート面談	女性医師・学び直し希望医師・UJターン医師	女性医師の離職抑止・職務復帰の円滑化
医師修学資金貸与医師等のキャリア形成に関する医局・病院との調整	医師修学資金貸与医師	県内定着の促進
Education	対象	直接的効果
佐賀への誇りや愛着心の涵養	医学部生	県内で診療をすることへの動機付け
佐大OBOGメンターを活用した医学部生への特別教育の企画	医学部生	県内の教育環境の向上による定着
医学生・研修医の自己学習促進のためのオンライン教育の企画	医学部生・若手医師	県内の教育環境の向上による定着
女性医師及び学び直し希望医師等へのスキルアップの機会の提供	女性医師・キャリアチェンジ希望医師	県内での教育の場の提供
卒前卒後一貫した地域に必要な医療に関心を持てる総合的な教育プログラムの企画	医学部生・若手医師	佐大生等の県内定着
夏期地域医療実習の企画	医学部生（自治・佐大・長大）	県内定着の促進
県内の臨床研修の質の向上に関する企画	臨床研修医	臨床研修医の確保
指導医スキルアップセミナー（仮称）の企画	若手医師	県内の教育環境の向上による定着
佐賀大学医学部内における育成・定着に関する医局横断的な会議の開催	若手医師	県内の定着
Evidence	対象	直接的効果
地域の医療需要、必要な医師数、育成・定着に資する教育等に関する調査・研究	県・医療機関等	PDCAによる育成・定着政策
医師育成・定着に関する課題や解決策の提言	県・医療機関等	育成・定着政策の見直し
佐賀県医師データベース（仮称）の構築	県・医療機関等	医師の配置状況の可視化
Network	対象	直接的効果
専任教員の地域医療対策協議会、地域医療構想調整会議及び分科会への参加	-	県内の支援体制の構築及び強化
臨床研修バスツアーの企画立案	医学部生	臨床研修医の確保
基幹型臨床研修病院合同説明会の企画	医学部生	臨床研修医の確保
臨床研修医のネットワーク構築の企画	臨床研修医	専門研修医の確保、将来的な定着
臨床研修プログラム・専門研修プログラムの効果的な広報	若手医師	臨床研修医・専門研修医の確保
女性医師のネットワーク構築の企画	女性医師	女性医師同士のネットワークの構築
佐大OBOGメンター・キャリアサポートドクター（仮称）制度構築	医学部生・若手医師・女性医師	相談窓口の拡充による県外流出防止
県内出身の他県大学医学部生への情報発信	医学部生	将来的な県内定着

5. 中長期的な事業展開イメージ

- 医師確保計画期間と歩調を合わせ、令和5年度（2023年度）までにセンターを軌道に乗せるとともに、令和6年度（2024年度）以降の取組について、見直しを行う。
- 令和3年度は関係機関等連携体制の構築、調査・分析、必要な取組について検討を行いつつ、キャリアコンサルティングを実施する。
- 令和4年度から、具体的な取組のうち関係者との調整が整った事項について実施する。
- 令和5年度には最低限必要な事業の枠組みを完成させる。

事業展開イメージ

令和3年度（2021年度）

- ・地域枠等医師のキャリアコンサルティングを実施
- ・卒前教育の充実に関する学内調整を開始
- ・病院間の調整を要する教育プログラムの検討を開始

令和4年度（2022年度）

- ・卒前卒後の一貫した教育プログラムを見直し
- ・地域枠等以外の医師へのキャリアコンサルティングを実施
- ・さらなる事業の追加実施

令和5年度（2023年度）

- ・センターが行う基本的な事業の枠組みが完成
- ・第8次保健医療計画の策定に向けた見直し

令和6年度（2024年度）

- ・第8次保健医療計画の開始

数値目標（アウトカム指標）

①県内臨床研修医採用者数：毎年度70名

②県内専門研修医採用者数：毎年度55名*

〔参考〕

*精神科を除く

年度	①臨床研修医 採用者数	②専門研修医 採用者数* 新専門医制度以降
平成29年度（2017年度）	46	—
平成30年度（2018年度）	46	50
令和元年度（2019年度）	64	46
令和2年度（2020年度）	69	45
令和3年度（2021年度）	57	51

6. 令和3年度年間計画（スケジュール）

重点的に取り組む項目

○地域枠等医師のキャリアコンサルティング

学生、地域枠臨床研修医との個別面談を通じ、

・県内で学び、勤務するに当たっての課題を把握

→面談で把握した課題を分析することで、県内の臨床研修医、専門研修医を増やすことを目的とした令和4年度以降の取組を検討

・キャリア形成について助言（徹底的なフォローアップ）

月	事項	内容
4月	新入生への地域枠オリエンテーション	・地域枠特別プログラムの紹介 ・「地域医療支援学講座」による動画のオンデマンド配信
5月～6月	講座の中長期的なプランの検討（具体化）	
4月～8月	自治・地域枠臨床研修医との面談	2年目研修医に関しては専門研修プログラム登録前に実施
4月～9月	自治・地域枠学生との面談（含オンライン面談）	1年、2年、6年とは4月～5月に面談
6月以降	地域医療教育協力者（地域医療メンター（仮称））に係るアンケート調査	「佐賀県医師会」「佐賀大学医学部同窓会」との協力
6月～10月	つながるホームページ（含オンラインライブラリー）作成	
6月～10月	医「志」を知るセミナー（高校訪問型説明会、会場型説明会）	※高校生向けの自治医大・佐大の説明会
8月	自治・地域枠学生合同夏期実習（オンライン）	「地域医療支援学講座」との協力
10月～1月	佐賀大学教養教育科目の担当（現代社会と医療Ⅲ、他）	「総合診療部」等との協力。地域医療について、他
10月～3月	地域医療教育協力者（地域医療メンター（仮称））によるセミナー（6回、含オンライン）	
4月～3月	特定診療科対策、キーパーソンとの面談	大学・県内基幹病院
未定	臨床研修バスツアーの企画、合同説明会への参加	コロナの状況を見て判断